

ゲームじゃないよ。eスポーツだよ！ 象潟友遊くらぶ eスポーツ体験会



6月8日、しまのまで象潟友遊くらぶeスポーツ体験会が行われました。eスポーツの「e」とは「Electronic・エレクトロニック」のことで、単に電子ゲームで対戦をするだけではなく、頭と身体を使ってさまざまな競技を行うもので、将来のオリンピック種目の候補として注目されています。この日、友遊くらぶの児童たち16人は4つのゲームタイトルで対戦。笑顔で対戦を楽しみながらも、時には真剣に競技に打ち込んだり、わからない子にはアドバイスを送りながら交流する姿が見られました。



▲左上、左下、中央：2人対戦や4人対戦で競う児童たち。右下：いい汗かいた～！？みんなで記念撮影

街と心にいろどりを 花いっぱい運動

6月1日、仁賀保地域の国道7号沿線で花いっぱい運動が行われました。これは、風力発電などの再生可能エネルギー発電事業者からの協力金を財源とした環境美化活動として実施していて、この日は17箇所の花壇にマリーゴールドやペゴニアなど6,500本を植栽。金浦、象潟地域の国道7号沿線にもあわせて約16,000本が植栽されました。



▲協力し花を植える参加者の皆さん

個性ある特産品が支える地域農業 高付加価値米生産振興意見交換会

5月30日、金浦庁舎で高付加価値米生産振興意見交換会が行われました。講師に、NPO法人環境保全ネットワーク理事長の高橋芳道さんを迎え、JA全農あきたや秋田しんせい農協、TDK(株)、市内営農組合などから27人が参加。宮城県内における環境保全米などを例に、秋田県のサキホコレや有機米といった高付加価値米の可能性などについて講話されました。



▲高付加価値米の魅力語る高橋理事長

唯一の高校を存続させるために 仁賀保高等学校魅力化推進地域連携協議会設立総会

5月31日、ねむの丘で仁賀保高等学校魅力化推進地域連携協議会の設立総会が開催されました。近年、定員割れが続く仁賀保高校の存続を目指し、商工会や同窓会など関連する13団体からなる協議会を設立。市内唯一の高校として存在する意義は非常に大きいとして、今後の地域や中学校との連携などについて活発な意見交換が行われました。また、設立記念講演会では株式会社SHONAI代表取締役の山中大介さんに、地域の持続的な発展における「教育」の重要性について講話をしていただきました。



▲右上・右下：存続に向け揺るぎない想いのもと協議会を設立。左下：さわやかな笑顔で想いを語る山中代表取締役

今シーズンの活躍をみんなで祈る TDK硬式野球部本拠地開幕戦

5月25日、TDK秋田総合スポーツセンター野球場で、TDK硬式野球部本拠地開幕戦が行われました。7月から始まるパリ五輪に出場が内定している北都銀行バドミントン部所属の永原和可那選手、松本麻佑選手が始球式を務め会場を大いに沸かせたほか、地元ダンスチームによるダンス披露やキッチンカーも出店し、シーズンの開幕を皆で盛り上げました。



▲5回終了時、ダンスを披露する「jk crew」の皆さん

木漏れ日が照らす土舞台で 小滝のチョウクライロ舞

5月25日、小滝地区の金峰神社境内で小滝のチョウクライロ舞が行われました。チョウクライロは長く^{すかた}く生き^{すかた}る容を意味し、1,200年以上の歴史がある延命長寿を祈る舞で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。この日は観光客や多くのカメラマンが見守るなか、五穀豊穡、無病息災を祈念し、九^{くしや}舎の舞や小^{ちこ}児の舞など7演目を奉納しました。



▲艶やかな衣装で太平楽の舞を奉納する児童